

ライフサイクル精神医学

科目責任者：古 郡 規 雄（精神神経医学）

I. 前 文

「ライフサイクル」とは人の一生における加齢にともなう変化を、いくつかの段階に区切って考える場合のそれぞれの段階をいう。人の一生を段階に分けて考えるのは、生活課題を検討しやすくするためである。また、各ライフステージでの生活課題を予見し検討することによって、1回限りの人生を意義あるものとして築くための指標とすることができる。本授業では各ライフサイクルについて解説し、自分は一体何者なのか、それを乗り越えると何か待っているのかがわかる。

II. 受入可能人数

人数は制限しない。

III. 担当教員

古 郡 規 雄
菅 原 典 夫
岡 安 寛 明

IV. 学習内容

以下の内容で講義を行う。

- 1) ライフサイクルとは
- 2) 乳児期－乳児期
- 3) 学童期
- 4) 青年期
- 5) 壮年期
- 6) 老年期

V. 学修の到達目標

各ライフサイクルの発達課題と疾患の関係について説明することができる。

VI. 成績評価の方法・基準

マークシート方式の客観試験（18問）

VII. 使用する教材・資料など

特になし

VIII. 質問への対応方法

精神神経医学講座 古郡（7075）まで
メールでの問い合わせも可能 furukori@dokkyomed.ac.jp

IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

事前学習は特になし。事後学習として、講義内容を10分程度復習してください。

X. コアカリ記号・番号

C-5-5) D-15-2) D-15-3) E-7-1) E-7-2) E-7-3) E-7-4) E-8-1) E-9-1)

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

試験結果を返却し、フィードバックする。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

*◎：最も重点を置くDP ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能、種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い、他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療、予防について原理や特徴を含めて理解し、他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け、正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け、患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け、患者やその家族、あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	
	書籍や種々の資料、情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し、自らの学修に活用することができる。	
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち、専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち、実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し、自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け、自らの行動に反映させることができる。	
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け、他者との関係においてそれを活かすことができる。	○

四
学
年